

令和2年度

教育行政執行方針



基本姿勢

少子高齢化の進行や社会構造、「雇用環境は大きく変化し将来を予測することが困難な時代に直面しています。

そのため、変化する社会に適応できる柔軟な精神力と生きる力の育成、家庭や地域と一体となって子どもを育むコミュニティスクール（学校運営協議会制度）の活用、心の豊かさや生きがいを創り出す学習の推進をしていきます。

教員が健康で生き生きとやりがいを持って働くことが児童・生徒にとってはかけがえ



教育長
石井 美雪

のない学校生活に繋がります。教員自身が時間に余裕を持つことで心にゆとりができ、効果的な教育活動となります。今年度も「学校における働き方改革北海道アクションプラン」に基づく取り組みを着実に推進するとともに、学校行事の見直し、業務の簡略化・効率化の実現に向けて推進していきます。

希薄化する地域交流や社会での仕組みに対応できるように社会教育事業を通して、異世代交流や異国人との関わりの中でコミュニケーション能力を育み、地域との絆を深め

妹背牛町教育目標

1. 命を大切に、明るく活力に満ちた生活を営む人
1. 勤労を尊び、郷土の発展に貢献する人
1. 自然と共生し、住みよいまちを創造する人
1. 豊かな心で、郷土の文化をはぐくむ人
1. 夢と希望を持ち、主体的に学び続ける人

ていく事業を展開していきます。更に、自主的な学習活動や体力増進に取り組み、自らその成果を地域に還元できる環境づくりと人生が健やかで豊かな心を育む生涯学習の推進をしていきます。

学校教育の推進



令和2年度から小学校では新学習指導要領が改訂され、社会の変化を見据えた新たな学びへと進化します。児童・生徒が共に学び、助け合い、楽しみながら学習に取り組む姿勢を維持できるように教育環境の整備を行います。

子どもたちは何ができるようになるのか、何を学ぶのか、また、どのように学ぶのかを踏まえ、その実態により教育課程の編成を行い、評価と改善を図ります。どこにでも起こりうる自然災害や事件、事故などに対して、防犯訓練及び災害発生時の避難訓練を実施し、安全対策の充実を図ります。

確かな学力の育成

学力向上については、全国学力・学習状況調査の結果を分析し、教育課程の実践的な検証サイクルに努め、学習支援員を含めた教職員の研究や資質を高めるための教育推進協議会への支援を継続します。子どもたちがこれからの社会を生き抜くため「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業を行い、多種多様の課題を解決するための思考力・判断力・表現力の育成に努めます。

また、基礎学力の習得には、学校での学習は勿論のこと、家庭での電子メディア・ゲームなどに接する時間と予習復習の時間を能率よく配分することが大切です。学校・家庭と連携して生活習慣の見直しと家庭学習の定着に向けて取り組んでいきます。

信頼される学校づくり

学校が保護者や地域住民の期待に応え、子どもたち一人ひとりの力を最大限に伸ばすためには、小中学校間の連携や管理職が中心となり学校運営に当たるとともに、教職員がそれぞれの力を発揮できるような環境づくりを推進していきます。

小学校の学校教育目標は、「志を持ち、心豊かでたくましく、よく学び考える 妹背牛の子」とし、目標達成のために、子どもたちの可能性と時代の要請に基づき、目的・内容・方法を吟味し、「チーム妹背牛小」として、全員が輝くユニバーサルデザインの学校づくりを進めていきます。

中学校では、社会に出たときに直面する課題に立ち向かうため、自分の思考や行動を客観的に認識する力や多様性を尊重し互いの良さを生かす協働性を培い、学びに向かう力、学習課題に向かう力を身につけさせるために

- 1) 確かな学力を自ら身につける生徒
- 2) 正しい判断と強い意志で行動する生徒
- 3) 豊かな心情を持ち社会に参加する生徒
- 4) たくましい身体をつくりスポーツを楽しむ生徒

の4点を柱に全教職員の意欲的な経営参画のもと、創意を結集し、協働して学校運営を推進していきます。

健やかな体の育成

子どもたちが充実した人生を送るための基盤となるのは健やかな体です。近年、子供の運動能力の低下が叫ばれており、体力向上への取り組みが必要なことから継続して「全国体力・運動能力、生活習慣等調査」を実施し、発達段階に応じた体力づくりに取り組んでいきます。

また、家庭での規則正しい生活習慣の定着と学校給食を通じた食育の充実により、心身共に健康への保持増進を図っていきます。

豊かな心の育成

小学校では、挨拶など基本的な生活習慣を身につけること、善悪を判断し生活上のきまりを守ることから始まり、中学校では各教科や総合的な学習の時間など、それぞれの特質に応じて自立への基礎を育む適切な指導を行います。各自が将来に対する夢や希望、自らの人生や未来を切り拓いていく力を育むよう創意工夫をしていきます。

また、いじめの未然防止はもとより、早期発見と組織的かつ迅速な対応が行われるように関係機関と連携して取り組んでいきます。

特別支援教育

一人ひとりの教育的ニーズの把握と困り感や苦手を克服できるように個別支援計画を作成し、児童・生徒の持つ才能を見逃すことのないよう注視しながら支援していきます。小中学校の特別支援コーディネーターを中心に情報共有を図り、生活や学習上の困難を改善するための適切な指導と支援を行っていきます。また、昨年に引き続き支援職員を適正配置し、T・T（チームティーチング）も含めた効果的な指導を行っていきます。

社会教育の推進



本町社会教育推進事業計画に基づき、うるおいに満ちた活力ある地域を創造する社会教育の推進を目指していきます。

人生100年時代に突入り、自らの人生を健康で明るく、学ぶ意欲と輝きに満ちた生活が送れるようにPDC Aサイクル（計画目標・行動・反省・改善）に基づき事業の展開を行います。

また、人と人とのつながりを強固にするため、異世代交流ができる事業の提供や様々な学習機会を通してコミュニケーションの形成に貢献していきます。

社会教育事業

新生児に絵本を贈呈し、早い時期から読み聞かせを行うことで感受性が育まれます。絵本や読書を通して得るものは計り知れません。語彙が増え、読解力や集中力の向上、更に知識や情報を得ることができます。幼児期から高齢者まで本に興味を持てるように創意工夫をしていきます。

小学生対象に体験学習や通学合宿、リーダー研修会などを通して忍耐力、協調性、自立性などを養い学ぶ機会の提供を行い、中高生にはジュニアリーダーコース、シニアリーダー研修会を継続実施し、コミュニケーション能力とリーダー性の向上を図ります。

全町民対象に新たな事業として、国際交流の学習機会を提供します。異なる国の言葉や文化にふれることで視野を広げ、新しい発見や学びへの興味が持てるよう企画していきます。

社会体育事業

町民の健康増進を維持するために誰もが参加できるラジオ体操を始め各事業の展開を行います。高齢になっても自分の足で歩き続けられるような支援事業や、小学生を対象に基礎体力の向上を目標としてスイミングスクールを継続します。山岳連盟との共催事業である町民登山では、草花を観察しながら仲間と感動を共有し、心も体もリフレッシュしながら体力づくりの増進を図っていきます。

また、運動能力低下の危機に備えて、アスリートによる講話と競技指導を継続していきます。更に体育協会を軸とし、競技力の向上と各種大会参加への支援を継続していきます。

芸術文化事業

芸術鑑賞では、創意工夫をしながら鑑賞機会を提供し、明るく豊かな心を育み異世代での交流を深めます。映画上映会や作品展など創造性を高めるとともに学習成果の発表の場を設けます。更に趣味や教養の幅を広げ、生涯充実した生活を送れるよう魅力ある活動を推進していきます。

また、文化団体の更なる育成と活動の支援に努めながら、協働・連携を深めていきます。

